

令和3～6年度 センター研究

「学校における ICT の効果的な利活用」

## 第 I 期（令和3、4年度）研究成果の紹介



# 目次

※以下、青字部分をクリックしていただくと、当該のページや資料に移動します。

目次	2
第Ⅰ期(令和3、4年度)研究計画の概要	3
各グループの研究紹介	
<a href="#">国語グループ(R3)</a>	5
<a href="#">国語グループ(R4)</a>	6
<a href="#">社会、地理歴史、公民グループ(R3)</a>	7
<a href="#">社会、地理歴史、公民グループ(R4)</a>	8
<a href="#">算数、数学グループ(R3)</a>	9
<a href="#">算数、数学グループ(R4)</a>	10
<a href="#">理科、物理、化学、生物、地学グループ(R3、4)</a>	11
<a href="#">音楽、図画工作、美術グループ(R3)</a>	12
<a href="#">音楽、図画工作、美術グループ(R4)</a>	13
<a href="#">体育、保健体育グループ(R3、4)</a>	14
<a href="#">家庭、技術・家庭グループ(R3、4)</a>	15
<a href="#">外国語グループ(R3)</a>	16
<a href="#">外国語グループ(R4)</a>	17
<a href="#">特別活動グループ(R3)</a>	18
<a href="#">特別支援教育グループ(R3、4)</a>	19
研究体制	20

# 第 I 期 (令和3、4年度) 研究計画の概要

## 1 目的

本県学校教育の課題解決や学校支援に資する実践的・先導的な研究を行うことにより、その成果が学校現場で生かされるようにする。

## 2 研究テーマ

「学校におけるICTの効果的な利活用」

## 3 テーマ設定の理由

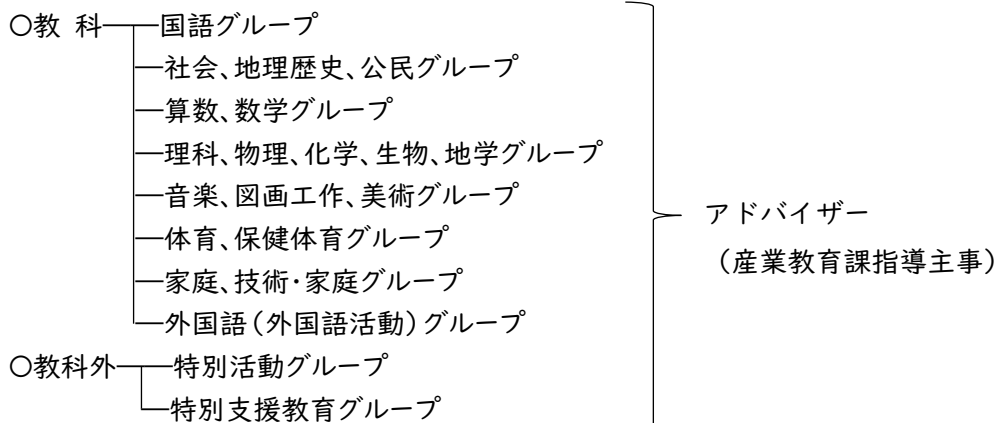
GIGAスクール構想による学校における教育ICT整備が急速に進められている中、資質・能力を一層確実に育成するための教員のICT活用指導力の向上が急務である。「令和4年度 学校教育指導の方針と重点」にも「情報化に対応する教育の推進」が挙げられており、本県学校教育の抱えている喫緊の課題の一つである。

そこで、教員のICT活用指導力の向上を目指し、ICTの活用に関する、学校現場が抱える課題やニーズを明らかにし、実践に役立つ教材や参考資料等の成果物の提供を行っていく。

## 4 第 I 期の目標

各教科・科目のICT利活用事例等についての研究成果物を学校現場へ提供する。

## 5 研究体制



# 各グループの研究紹介

作成した資料は、こちらの Web ページからダウンロードできます。

<https://kenkyu.edu-c.pref.aomori.jp/center-ken>



## 国語グループ (R3)

### 【研究テーマ】

国語科の学習指導における ICT の効果的な利活用に関する研究

GIGAスクール構想に基づく小・中学校のICT環境の整備の他、本県では県立学校においても1人1台タブレット端末の配備が進み、ICTを活用した授業の実践が求められています。国語科においては、日常生活や実社会で必要な国語の能力の向上を図り、言語活動をさらに充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の改善・工夫を図っていくことが大切であると言えます。

本研究では、「国語科の学習指導におけるICTの効果的な利活用に関する研究」をテーマとし、授業をはじめとする学習指導においてICTを効果的に活用することで児童・生徒の主体的な言語活動の一助となると考えました。小・中・高のそれぞれの校種ごとに、実際の学習指導の場を想定した事例を挙げ、ICTを活用できる場面やICTを活用することのメリットを提示しております。また、今回提案したICTの活用方法は、単元や取り上げる教材が異なっても応用できる内容が盛り込まれております。目の前の児童・生徒の皆さんに合わせて、アレンジして活用していただければと思います。

### 【資料】

1. [\[小学校\]「読むこと」領域におけるICT活用例.pdf](#)

キーワード:ロイロノート、文学的な文章、思考ツール、  
教材「白いぼうし」

2. [\[中学校\]「話すこと・聞くこと」領域におけるICT活用例.pdf](#)

キーワード:Google Workspace、1学年、  
単元「好きなことをスピーチで紹介する」

3. [\[高等学校\]文学的な文章の指導におけるICT活用例.pdf](#)

キーワード:Google Workspace、現代文分野、教材「羅生門」

4. [\[高等学校\]グループワークでのICT活用例.pdf](#)

キーワード:Google Workspace、古典分野、教材「枕草子」

## 国語グループ (R4)

GIGAスクール構想の下、1人1台タブレット端末の配置が進み、ICTを活用した授業の実践が求められています。国語科においては、日常生活や実社会で必要な国語の能力の向上を図り、言語活動をさらに充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の改善・工夫を図っていくことが大切であると言えます。

本研究では、「国語科の学習指導におけるICTの効果的な利活用に関する研究」をテーマとしました。小・中・高の校種ごとに、各領域の指導事項に応じたICTの活用例や、ICTを活用することのメリットを提示しております。活用場面をイメージできるよう、それぞれの例において単元を設定してあります。今回提案した活用例には、単元や取り上げる教材が異なっても応用できる内容が盛り込まれております。目の前の児童・生徒の皆さんに合わせて、アレンジして活用していただければと思います。

### 【資料】

1. [小学校【書くこと】活用例.pdf](#)
2. [中学校【読むこと】活用例.pdf](#)
3. [高等学校【話すこと・聞くこと】活用例.pdf](#)
4. [高等学校【書くこと】活用例.pdf](#)

## 社会、地理歴史、公民グループ (R3)

### 【研究テーマ】

一人一台端末を活用した社会的事象について調べまとめる技能を育む社会科・地理歴史科・公民科の授業開発研究

### 【研究の目的】

本グループは、社会的事象等について調べまとめる技能を育むために効果的な一人一台端末を活用した授業を開発するとともに、校内研修等講師派遣事業で活用できる研修用パッケージを作成し、学校現場への情報提供をおこなうことを目的としました。

### 【授業案を開発するにあたって注意したこと】

★児童・生徒の視点→発達段階に考慮した活用方法の設定

★教師の視点→タブレット端末や学習支援ソフトの導入段階の活用方法

※まずは、「一人一台端末を使ってみる!」をテーマに、初歩的な操作で活用できる場面の検討をしてみました。

### 【資料：一人一台端末を活用した授業案】

1. [小学校社会\(3年\).pdf](#)
2. [小学校社会\(6年\).pdf](#)
3. [中学校社会\(歴史\).pdf](#)
4. [中学校社会\(公民①\).pdf](#)
5. [中学校社会\(公民②\).pdf](#)
6. [高校地歴\(地理総合\).pdf](#)
7. [高校地歴\(日本史探究\).pdf](#)
8. [高校公民\(公共①\).pdf](#)
9. [高校公民\(公共②\).pdf](#)
10. [高校公民\(公共③\).pdf](#)



## 社会、地理歴史、公民グループ(R4)

社会・地理歴史・公民グループでは、「『社会的事象等について調べまとめる技能』を育成するための1人1台端末を活用した授業計画開発研究」というテーマを設定し、研究に取り組んできました。「社会的事象等について調べまとめる技能」については、学習指導要領解説の巻末に「参考資料」として、情報を収集する技能・情報を読み取る技能・情報をまとめる技能の3つに整理され示されており、特に地理学習においては地理情報システム(GIS)の活用が求められています。そこで今年度はICTを活用した授業計画を提示するのではなく、地理学習におけるICT活用、中でも身近で誰にでも活用しやすいWebGISとしてGoogle Earthを取りあげ、プロジェクトの作成方法や提案事例などを研究成果としてまとめました。

研究を進めていく中で、地理学習における「調べまとめる技能」は、地理的事象に対する理解・関心を深めたり、新たな知識を獲得したりする学習過程で身に付いていくものであり、その有効な手段の一つとして、Google Earthのプロジェクト機能があるのではないかと考えるようになりました。今年度の研究成果が地理学習における魅力的な教材づくりや子どもたちの資質・能力の育成を目指した授業づくりの一助になればと思います。

### 【資料】

[地理学習における Google Earth の活用.pdf](#)

## 算数、数学グループ (R3)

### 【研究テーマ】

小中高の学びを体系的に考える ICT を活用した算数・数学科教育の研究

令和2年9月に文部科学省から「各教科等の指導におけるICTの効果的な活用に関する参考資料」が示されました。算数・数学科の指導に求められる観点として、具体を通して算数・数学の内容を確実に理解し、数学的に考える力を育成することが必要であり、そのためにはICTを効果的に活用することが重要であると述べられています。

本研究では、小中高の学びを体系的に捉えるとともに、ICTを活用する場面を適切に選択し、様々なソフトウェアやアプリケーションを使用した授業デザインを構築することで、数学的に考える資質・能力の育成につながるのではないかと考え、本テーマを設定しました。デジタルかアナログかといった二項対立ではなく、これまでの実践とICTとの最適な組合せを模索し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげるために、今年度は図形領域における「ICT活用のハードルを下げる授業デザイン」を9つ提案します。資料の中には、GeoGebra のリンク先も掲載しております。自由に操作して、図形の性質を視覚的に捉える活動を生徒目線で体験してください。

### 【資料】

[小中高の図形領域における ICT を活用した授業デザインの作成](#)

【動画】それぞれの授業デザインを解説した動画も合わせてご視聴ください。

1. [小学校算数〔直方体と立方体〕](#)
2. [小学校算数〔垂直・平行と四角形〕](#)
3. [小学校算数〔円の面積〕](#)
4. [中学校数学〔面積と平行線〕](#)
5. [中学校数学〔円周角の定理〕](#)
6. [中学校数学〔三平方の定理〕](#)
7. [数学Ⅰ〔図形と計量〕](#)
8. [数学Ⅱ〔図形と方程式〕](#)
9. [数学A〔図形の性質〕](#)

## 算数、数学グループ (R4)

### 「数学的に考える活動の充実」へ向けた授業デザインの作成・提案

#### 【資料】

[関数・図形領域における授業デザインの作成](#)

- 小中高のつながり    ■試行錯誤と振り返り    ■9つの授業デザイン    ■解説動画

### 授業デザインの解説動画へ直接アクセス

#### 【小学校】

- 4年生 折れ線グラフ …… <https://youtu.be/o-hlq0fnF-Y>  
■4年生 倍の計算 …… <https://youtu.be/EI0SS4LlzFA>  
■5年生 速さ …… [https://youtu.be/\\_XHtSe-1ldA](https://youtu.be/_XHtSe-1ldA)

#### 【中学校】

- 1年生 比例の利用 …… <https://youtu.be/Ac9U1IIV0vY>  
■2年生 一次関数と図形 …… <https://youtu.be/DhZjlwhVnBw>  
■3年生 関数  $y=ax^2$  …… <https://youtu.be/AIEZe9h3bMg>

#### 【高等学校】

- 数学 I 二次関数の最大・最小 …… <https://youtu.be/m9D56ot8n-k>  
■数学 II 三角関数の合成と方程式 …… <https://youtu.be/an67fOVMSiE>  
■数学 C 極方程式で表される曲線 …… <https://youtu.be/rEwNxzaEN50s>

## 理科、物理、化学、生物、地学グループ (R3、4)

### 【研究テーマ】

ICTを活用した理科、物理、化学、生物、地学の授業づくり

理科、物理、化学、生物、地学グループは、「ICTを活用した理科、物理、化学、生物、地学の授業づくり」を研究テーマにし、児童生徒が主体的・対話的で深い学びを実現し、主体的に問題解決に取り組む、科学的に問題を解決できるよう、1人1台端末を効果的に活用する指導方法について研究を進めています。

令和3年3月に、文部科学省からGIGAスクール構想の下で整備された1人1台端末を積極的に利活用するように通知されました。また、令和2年9月には、「各教科等の指導におけるICTの効果的な活用に関する参考資料」が示され、「観察、実験の指導に当たっては、直接体験が基本であるが、ICTを適切に活用することによって、学習の質を高めることができる。『観察、実験の代替』としてではなく、理科の学習の一層の充実を図るための有用な道具としてICTを位置付け、活用する場面を適切に選択し、教師の丁寧な指導の下で効果的に活用することが重要。」と述べられています。

本研究では、観察、実験を直接体験しながら、1人1台端末のICTを活用した理科の授業場面を想定し、その考えられる効果について整理し、提案しました。

これまでも、理科の授業においては、児童生徒や学校、地域の実態に応じた様々な情報機器を活用した指導例は報告されています。これまでの実践に加え、今後は1人1台端末を積極的に活用して、その効果を確かめていこうと思います。

### 【資料】

1. [理科の学習指導における1人1台端末のICTを活用した指導例①.pdf](#)
2. [理科の学習指導における1人1台端末のICTを活用した指導例②.pdf](#)

## 音楽、図画工作、美術グループ (R3)

### 【研究テーマ】

ICTを活用した音楽、図画工作、美術の授業づくり

音楽・図画工作・美術グループでは、「音楽・図画工作・美術科の指導における ICT を活用した授業づくりに関する研究」をテーマに、アプリや Google Classroom 等を活用し、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に取り組んでいます。

### 【音楽】「一人一台端末を使った音楽づくり(創作)」

〈小学校2学年〉

「いろいろながっきの音をさがそう ～がっきでおはなし～」

〈小学校4学年〉

「いろいろな音のひびきを感じ取ろう ～打楽器の音楽～」

〈中学校2・3学年〉

「言葉の抑揚を生かして旋律をつくろう ～My Melody～」

〈高校1学年〉

「五音音階をもとにして旋律を工夫しよう」

### 【図工・美術】「一人一台の端末を使った題材例」(Google Classroom を活用)

〈題材例 その1〉小・中・高・特の発達段階に合わせてアレンジ可能

「ぴったりの形・色」

⇒形や色に着目し、お題にぴったりだと思えるものを一つ選ぶ活動。年間指導計画に複数回入れたり、毎時間のアイスブレイクに取り入れたりするのにおすすめです。

〈題材例 その2〉小・中・高・特の発達段階に合わせてアレンジ可能

「Maru の気持ち」

⇒「〇」の気持ちを基に主題を生み出し、色や動きの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る活動。Google スライドを活用した、アニメーションづくりになっています。

### 【資料】

1. [音楽科「一人一台端末を使った音楽づくり\(創作\)」.pdf](#)
2. [図工・美術科「一人一台端末を使った題材例」.pdf](#)

## 音楽、図画工作、美術グループ (R4)

音楽・図画工作・美術グループでは、音楽・図画工作・美術科の指導における ICT を活用した授業づくりに関する研究を、アプリや Google スライド等を活用し、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に取り組んでいます。

気になる項目がありましたら、作成資料 PDF からご覧いただき、児童・生徒、学校の実態に合わせて御活用ください。

### 【資料】

#### 1. 音楽

[ICT を効果的に活用した音楽の授業づくり\(鑑賞\) \(1\).pdf](#)

[指導と評価の計画\(小学校・トルコ行進曲\).pdf](#)

[指導と評価の計画\(中学校・魔王\).pdf](#)

#### 2. 図工・美術

[図工・美術 指導の改善と ICT 活用について.pdf](#)

[ICT 活用例\\_図工「○○の形からのぞくと\(小5 B鑑賞\)」指導と評価の計画\(案\).pdf](#)

[ICT 活用例\\_美術「模様のデザイン\(中1A表現\)」指導と評価の計画\(案\).pdf](#)

[ICT 活用例\\_美術「Maruの気持ち\(中2 A表現\)」指導と評価の計画\(案\).pdf](#)

[ICT 活用例\\_美術「ささやかだけれど気持ちのいいデザインを探せ\(中2 B鑑賞\)」指導と評](#)

[価の計画\(案\).pdf](#)

## 体育、保健体育グループ (R3、4)

### 【研究テーマ】

体育科・保健体育科の学習指導における1人1台端末の活用に関する研究

私たち体育・保健体育研究グループでは、「体育科・保健体育科の学習指導における1人1台端末の活用に関する研究～体育・保健体育における1人1台端末を活用した学習指導モデルの作成～」という研究テーマを設定し取り組んでいます。

本研究では、体育・保健の授業の各場面に応じて、Google workspace のアプリやロイロノートアプリを活用しながら、授業において気軽に活用できるような学習指導モデルを作成、研究しています。主に導入や展開で活用できるようなモデルを作成しているので、すぐに実践できるような構成となっています。

これまでも体育の授業においては、カメラやビデオカメラといったICT機器を使用した、技能分析を中心とした活用事例は報告されています。これまでの実践に加え、今後は、より適時に効果的にICT機器を活用していきましょう。

どうぞ気軽に試してみてください。

### 【資料】

1. [体育科・保健体育科の学習指導における1人1台端末の利活用に関する研究～体育・保健体育における1人1台端末を活用した学習指導モデルの作成～【第1版】](#)
2. [体育科・保健体育科の学習指導における1人1台端末の利活用に関する研究～体育・保健体育における1人1台端末を活用した学習指導モデルの作成～【第2版】](#)

## 家庭、技術・家庭グループ (R3、4)

### 【研究テーマ】

家庭、技術・家庭科の指導におけるICT活用に関する研究

家庭、技術・家庭グループでは、テーマを「家庭、技術・家庭科の指導におけるICT活用に関する研究」とし、技術分野、家庭分野それぞれの授業において、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、学習過程のどの場面でもどのように活用していくべきかを研究しています。主体的・対話的で深い学びを実現するためには、情報端末や情報通信ネットワークを、生徒の思考の過程や結果を可視化したり、大勢の考えを瞬時に共有化したり、情報を収集し編集することを繰り返し行い試行錯誤したりするなどの学習場面において、積極的に活用することが求められています。

県内に導入されている端末は地区ごとに異なりますが、どの端末でも利用可能なアプリケーションを用いて実践しました。

技術分野では、Google for Education の他に、インストール不要なウェブアプリケーションを例に取り上げて実践しました。

家庭分野では、主に端末のカメラ機能を用いて撮影した画像や動画をどのような場面で効果的に活用するかの例を取り上げました。

研究・実践の概要については、作成した資料からご覧ください。

### 【資料】

[家庭、技術・家庭におけるICT活用.pdf](#)

### 【使用ツール一覧】

- ・Google workspace for Education
- ・Youtube (動画コンテンツ)
- ・TinkerCAD (CAD・電気回路シミュレータ)
- ・Scratch (プログラミング、シミュレータ)
- ・Teachable Machine (AI、機械学習)



## 外国語グループ (R3)

### 【研究テーマ】

言語活動の充実に向けた、ICT 活用による効果的なアプローチに関する研究

外国語グループの研究テーマは、「オンライン／対面授業の長所を取り入れたハイブリッドな学びとその評価方法について」です。外国語の授業においては、多くの先生方がこれまでも視聴覚資料の提示など、ICT の活用をされていると思います。しかし、学校の設備や先生方によって、その活用の程度は大きく異なるのが現状だと思います。世界各国と比較すると、日本の教育分野における ICT の活用は極端に少ない状況です。また、今年度からは GIGA スクール構想の実現のため、ICT の活用が重要とされています。そのため、本研究では、より気軽に部分的からでも、授業内外に取り入れられるような ICT の活用を提案しています。

研究内容は高等学校における外国語の ICT の活用を提案しています。以下の資料をご覧ください。

### 【資料】

[令和3年度センター研究【外国語グループ】.pdf](#)

## 外国語グループ (R4)

外国語活動及び外国語科の授業では、児童生徒が「外国語によるコミュニケーションの見方・考え方を働かせ」ながら、充実した「言語活動を通して」、「コミュニケーションを図る資質・能力を育成する」ことが、小中高を通した学習指導に一貫して求められています。また、ICT環境の整備も進み、ICTを効果的に活用することも期待されています。

外国語グループでは、各発達段階に応じて、生徒の主体的・対話的で深い学びを実現するために、ICT活用が有効な言語活動の場면을精選し、ICTの効果的な利活用と充実した言語活動の実践について分析、整理しています。今年度は、ICT活用による効果的なアプローチについて検討しました。

### 【資料】

[「言語活動の充実に向けた、ICT活用による効果的なアプローチに関する研究」.pdf](#)

## 特別活動グループ(R3)

### 【研究テーマ】

小・中学校特別活動の学級活動における情報端末を用いた指導に関する研究

特別活動は、これまで「なすことによって学ぶ」ことを方法原理として、各学校において特色ある取組が進められてきました。児童・生徒は特別活動を通じて、協調性や異質なものを認め合う態度を身に付けたり、集団への所属感や連帯感を感じられるようになったりするなど、大きな成果をあげてきました。特別活動は、児童・生徒が学校生活を送る上での基盤となる力を育む活動として、また社会で生きて働く力を育む活動として重要な役割を果たしています。

一方、特別活動の指導を行う中で、いくつか課題があげられています。一つは、特別活動の指導を通じて身に付けさせるべき資質・能力を、指導者が十分意識できていない実態があることです。各活動・学校行事が行われていても、指導者が、児童・生徒にどのような資質・能力を獲得させなければならないかを理解していなければ、その効果は半減してしまう恐れがあります。もう一つは、児童・生徒にどのような学習過程を辿らせて資質・能力の向上につなげるのかということ、指導者が十分意識できていない実態があるということです。このような実態を踏まえ、平成29年3月告示の小・中学校学習指導要領においては、特別活動の各活動の内容について、それぞれの項目においてどのような資質・能力を育成するのか、また、どのような学習課程を経て学ぶのかが端的に示されました。

本研究においては、今回学習指導要領で示された育成すべき資質・能力を、例示された学習過程を経て児童・生徒が獲得できるように、それらの要素を意図的に加えた指導計画を作成し、それを情報端末の機能を用いて指導を行うことによって、指導の効果を高めることを目指しました。

### 【資料】

[小・中学校特別活動の学級活動における情報端末を用いた指導に関する研究.pdf](#)

## 特別支援教育グループ (R3、4)

### 【研究テーマ】

特別な支援を要する児童生徒への機能代替アプローチによる ICT 活用の理解啓発に関する研究～読み書きに困難のある児童生徒に焦点を当てて～

この研究テーマでは、少し難しそうな印象を与えてしまう可能性もありますので、私たちは、「マナビカタ発見プロジェクト～読み書きの困難さをタブレット PC で補おう～」をキャッチフレーズにして、研究活動に取り組んでいます。特別な支援を要する児童生徒、とりわけ読み書きに困難のある児童生徒\*に焦点を当て、「自分に合ったマナビカタ(学び方)の発見」をサポートすることを目指しています。

\*本研究では、全般的な知的発達に遅れがない児童生徒を想定しています。

### 【リーフレット】

[マナビカタ発見リーフレット第1号.pdf](#)

[マナビカタ発見リーフレット第2号.pdf](#)

### 【コンテンツ】

1. 理解啓発研修コンテンツ「特別支援教育研修『あなたなら、どうする?』」

以下の Web サイトから各種資料を直接ダウンロードすることができます。

<https://ts.edu-c.pref.aomori.jp/reaserch/manabikata/rikaikeihatsu>

2. 支援・配慮検討コンテンツ「読み書きに困難のある児童生徒のマナビカタ発見チェックリスト」

以下の Web サイトにアクセスし、Google フォームに必要事項を入力していただくことで、後日、学校等のメールアドレスへ本チェックリストの電子データ(Excel ファイル)が送信されます。

<https://ts.edu-c.pref.aomori.jp/reaserch/manabikata/checklist>

# 研究体制

---

## 研究委員会(総括)

委員長	谷口 実	副委員長	佐藤 幸広 (R4)
副委員長	平川 淳一郎 (R3)	担当	森山 貴史

---

## 国語グループ

指導主事	小枝 麻希 (R3 チーフ)	指導主事	松尾 和明
//	毛内 志のぶ (R4 チーフ)	//	齋藤 紀行 (R4)
//	加藤 誠 (R3)		

---

## 社会、地理歴史、公民グループ

指導主事	金子 勇太 (R3 チーフ)	指導主事	外崎 法夫
//	柴田 裕介 (R4 チーフ)	//	池田 晋平
//	豊巻 裕史 (R3)	//	宮古 和行 (R4)

---

## 算数、数学グループ

指導主事	小関 央高 (チーフ)	指導主事	工藤 直子
//	前田 達哉 (R3)	//	倉橋 朋秀 (R4)
//	平井 裕		

---

## 理科、物理、化学、生物、地学グループ

指導主事	時村 陽一 (チーフ)	指導主事	工藤 陽平
//	長内 郁典	//	田中 孝幸
//	齋藤 早津枝	//	千葉 靖幸

---

## 音楽、図画工作、美術グループ

指導主事	葛西 励 (チーフ)	指導主事	道川 里奈
//	伴 貴代		

---

## 体育、保健体育グループ

指導主事	畑山 紘輔 (チーフ)	指導主事	根城 亮輔
//	木村 勇也 (R3)	//	山谷 倫規 (R4)
//	平川 淳一郎 (R3)	研究員	山口 星
//	佐藤 幸広		

---

## 家庭、技術・家庭グループ

指導主事	澤田 基 (R3 チーフ)	指導主事	倉本 貴恵
//	飯田 香久 (R4 チーフ)		

---

## 外国語グループ

指導主事	相馬 奈緒 (R3 チーフ)	指導主事	松本 麻里 (R4)
//	白坂 淳美 (R4 チーフ)		

---

---

**特別活動グループ**

指導主事 月足 正亮 (R3 チーフ)

---

**特別支援教育グループ**

指導主事 森山 貴史 (チーフ)

// 辻村 義樹

// 高橋 妹子

// 高坂 正人

指導主事 藤川 くみ

// 沼山 恵実

// 千葉 玲奈 (R4)

---

**アドバイザー**

指導主事 下山 晃朋

// 秋田 春樹

// 石田 尚将 (R3)

指導主事 白戸 義隆

// 新堂 満香

// 竹谷 大介 (R4)

---

